OHAT-J 臨床連携ノート

観察した場所と、正式評価表の結果をケアにつなげる

氏名／ID：_____　評価日：_____　評価者：_____

公式表の版：_____ 評価条件：食前・食後／清掃前・清掃後
姿勢：_____ 義歯：有・無・未確認 装着：有・無 時刻：_____

01｜観察メモ（正式な採点基準の代わりには使用しません）

項目	転記点	部位・見えたこと・本人の訴え／未評価の理由
口唇		
舌		
歯肉・粘膜		
唾液		
残存歯		
義歯		
口腔清掃		
歯痛		

転記点：公式表で採点した0〜2点を記入。未評価は「未」とし、理由を残す。
公式表の合計：_____／16点 未評価がある場合：合計未算出・その他（）

02｜優先する問題と、今日行うこと

本人が困っていること／痛み・食事・ケアへの影響：

今日の対応と担当者：

採点基準・写真例・最新版：東京科学大学大学院 地域・福祉口腔機能管理学分野

https://www.ohcw-tmd.com/research/ohat.html

独自の記録補助用紙です。正式な採点には公式OHAT-J評価表を併用してください。

OHAT-J 臨床連携ノート

実施・連絡・再評価｜点数だけでなく、対応の完了まで確認する

氏名／ID：_____　記録日：_____　記録者：_____

03｜日常ケアの計画

本人ができる範囲／介助する場所：

用具・方法・姿勢・回数・担当者：

実施できなかった理由と調整（疼痛・拒否・疲労など）：

04｜歯科・医療チームへの連絡

相談先：_____　連絡日：_____　対応予定日：_____

伝える所見（どこに・いつから・何が・生活への影響）：

回答・指示／受診までの対応：

05｜再評価と次の目標

次回評価日：_____　担当：_____　そろえる条件：_____

変化した項目・残る問題：

痛み・食べやすさ・清掃動作の変化／次の対応：

使用上の要点：未評価を0点にしない。合計点が低くても痛みや病変を見落とさない。
緊急性がある所見は、予定の再評価日を待たず医療へ連絡する。

出典：松尾浩一郎・中川量晴．障害者歯科．2016;37:1–7．doi:10.14958/jjsdh.37.1
公式OHAT-J配布案内：https://www.ohcw-tmd.com/research/ohat.html
公式評価表・説明資料は配布元から入手。本紙はその転載・改変版ではありません。
作成・確認：2026年10月27日

独自の記録補助用紙です。正式な採点には公式OHAT-J評価表を併用してください。